

1.会長挨拶

千環協 創立 30 周年記念式典の開催に際して

千葉県環境計量協会
会長 津上 昌平



(平成 18 年 7 月 14 日 京成ホテルミラマーレ)

只今ご紹介頂きました、当協会の会長を務めております、習和産業(株)の津上昌平です。本日のこの 30 周年の記念式典の開会に当り、一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、また大変むし暑い中、ご来賓の方々、関係団体の方々、協会OB及び、会員の皆様に多数お集まり頂きました。皆様方とこのように盛大に 30 周年の記念式典を開催できますことを大変嬉しく思います。協会を代表して厚く御礼申し上げます。

千葉県環境計量協会（以下;千環協）は 30 年前の 1976 年（昭和 51 年）6 月に千葉県内の計量証明事業登録機関、7 事業所にて設立されました。当時の記録では、初代の会長に千葉県環境技術センターの前沢辰雄様が就任され、副会長 2 名、理事 3 名、監事 1 名と全ての会員が役員として協会の発足と同時に活動を開始されたようです。設立時より千葉県計量検定所や県環境部を始め、行政当局から親切なご指導を頂き、その後徐々に会員数も増え各委員会の活動も活発になり、昭和 61 年に 10 周年、平成 8 年に 20 周年の記念行事をそれぞれ開催し

ております。近年ではこれらの活動が近隣の県単や日環協他関係団体からも注目され、“千環協”としての知名度も向上してきました。

私は第9代目の会長として、先ほど功労者として表彰されました名取様（セイコーアイ・テクノロジー㈱）の後を受け、平成14年より微力ながら協会の代表者を務めております。歴代の会長をはじめ役員の方々が築いて下さったすばらしい足跡を確かめつつ、千環協を更にユニークな団体とするためにホームページの開設や一部委員会の見直しなどを行いました。また、今回30周年の記念として千環協の会章（シンボルマーク）を制定しようという提案が出て、早速会員や関係機関の皆様へデザインを募集し多数の作品の応募を頂きました。その中から数点を選び、4月の総会の席でアンケートをとりロゴマークを選定致しました。お手元にある本日のプログラムの表紙に印刷しております他、本日後ほどお配りする記念品にも早速使用しております。この新しいマークと共に、本日30周年の記念すべき日を新たなスタートとし、40周年、50周年へ向けてさらに飛躍していきたいと考えています。

さて私共の環境計量証明事業におきましては、“安全・安心・健康”といったキーワードが注目され正確なデータを提供するという使命がますます重要になってきました。最近では一部での資格取り消しやデータの偽装などの事案も踏まえ、技術者の個人としての倫理や企業としてのコンプライアンスの問題も重要なテーマとなっております。更に国際化対応や計量制度の見直しなど、これからも取り組んでいくべき課題がたくさんあります。協会としてもこれらの動きに十分に対応していくために、関係機関との連携をこれまで以上に深めていくと共に、会員相互のネットワークをより強固なものとして活動していきたいと考えております。会員の皆様の協会活動への更なるご理解とご協力を改めてお願いする次第です。

本日は式典の後、国立環境研究所にて環境化学の第一人者としてご活躍された森田先生をお招きして記念講演をお願いしております。また、その後本日お集まり頂きました皆様と一緒にお祝いをする祝賀パーティーを予定しております。長時間となりますが、どうか最後までお付き合いの程お願い致します。

最後に本日の記念式典を開催するにあたり実行委員としてご協力頂いた役員の方、また、いろいろなアドバイスを頂きました行政機関やOBの方々、また本日お手伝いとしてご協力頂きました会員の方々に厚く御礼を申し上げて、記念式典の開会と創立30周年の御礼のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。